

## 令和2年度 大阪府立福井高等学校 第3回学校運営協議会

日時：令和3（2021）年2月24日 午後2時30分～午後4時

場所：本校1階校長室

構成員：

### <協議会委員>

勝部 幸	元府立高等学校長
武本 和泉	本校PTA会長
米澤 恵子	元茨木市立小学校長
塩田 寛	福井地区自治振興会 会長
福田 正幸	茨木市健康福祉部 自立相談支援員
橋長 克雅	茨木市立豊川中学校長（「福井高校を育てる会」会長）

### <事務局>

原田 信尚	教頭
坂本 丞平	首席・教務部長
太田 真希子	首席
中川 誠寛	生徒指導部長
曾根 康介	進路指導部長
岡本 澄	地域連携主担
内田 正俊	校長

配布資料：

- ・ドリカムの取り組み紹介（資料1・2）
- ・授業向上プロジェクト（資料3）
- ・多文化共生プロジェクト（資料4）
- ・35期生進路状況（資料5）
- ・生徒指導部「1年を振り返り成果と課題」（資料6）
- ・特別活動部報告（資料7）
- ・人権保健部「今年度の取り組み」（資料8）
- ・広報活動報告（資料9）
- ・総合学科推進会議報告（資料10）
- ・学校教育診断表（資料11～14）
- ・総合学科アンケート他校との比較（資料15）
- ・令和2年度「学校経営評価」について（資料16）
- ・令和3年度「学校経営計画」について（資料17）
- ・緊急事態宣言下における府立高校の教育活動等について（別紙資料）

内容：

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 事務局より活動報告

(1) 生徒取り組み・進路実現

- ・ドリカムの取り組み紹介、生徒プレゼン（資料1・2）
- ・授業向上プロジェクト（資料3）
- ・多文化共生プロジェクト（資料4）
- ・35期生進路状況（資料5）

(2) 分掌・委員会

- ・生徒指導部（資料6）  
→業間遅刻の指導により、遅刻数は減少したものの、SNSトラブルが目立った。
- ・特別活動部（資料7）  
→一部活動に制限がかかる中で、全国大会出場や入部率など、前向きに取り組んでくれている。
- ・人権保健部（資料8）  
→SNSトラブルにかかわり、スマートフォンに関するHRなどを行った。
- ・広報（資料9）  
→オープンスクールではなく、説明会を複数回実施した。
- ・総合学科推進会議（資料10）  
→ドリカムの構成も含め、「夢発見 実現」の合言葉にむけて体制を整えていきたい。

(3) アンケート

- ・学校教育自己診断（資料11~14）  
→コロナ禍の影響で行事に関する数値が大きく下がっているのに対して、「学校に行くのが楽しい」の数値はなんとか踏みとどまっている。
- ・総合学科アンケート（資料15）  
→ドリカムへの評価がぐんと上がっており、学校体制が整ってきたことがうかがえる。

4. 令和2年度「学校経営評価」について（資料16）

- ・「目指す学校像」および「中期的目標」については第1回で報告済。
  - ・「学校教育自己診断の結果と分析」については、コロナ禍にかかる影響で、全体的に数値が下がっている。一方で、総合学科の特徴である授業に関する項目は上昇傾向。
  - ・「本年度の取り組み内容及び自己評価」について、「夢・発見」については自己評価◎。ドリカムフェスタはコロナに対応した取り組みとして、校内での発表としたことが実り、自己診断では肯定意見が9%上昇した。
- 「発見・実現」については、行事に対する満足度の落ち込みが大きい。一方で、授業の分かりやすさは向上。そのほか、ひとり一台PCに向け、体制作りが必要。
- 「安全で安心な学びの場づくりの推進」については、コロナ禍で様々なことがうまくいかない中、部活動をはじめ、多文化もよく頑張ってくれている。また、交流という点では大学生をたくさん受け入れたことで、高大の交流が叶った。そのほか、教員のストレス指数は昨年度より下がった。

→決議 →承認

## 5. 入学者選抜概況

・定員の充足は厳しいが、4学級を維持しなければ、総合学科としての授業が困難になる。アンケートでは総合学科の満足は高いが、総合学科は国の政策の一つであるにもかかわらず、大阪では人気は低い。総合学科でしかできない授業を大切にしつつ、ドリカムも充実させていきたい。

## 6. 令和3年度「学校経営計画」について（資料17）

・令和2年度のものをもととして、ひとり1台PCなどを念頭に書き換えている。

→決議 →承認

## 7. 質疑応答・意見

### 【進路状況について】

（委員）大学入試の試験タイプは何が一番多いか？また、総合学科枠を利用する生徒はいるか？

（学校）指定校が一番多いが、今も一般で頑張っている生徒もいる。総合学科枠は数名。

（委員）一般の生徒を最後までどう支えるか？

（学校）昨日の休日でも出勤して教えている先生もいた。

（委員）先生方の負担も気になる。自学自習で学ぶサークルのようなものを取り入れてほしい。

### 【学力向上について】

（委員）学習指導員をもっと活用してはどうか？ 学習習慣がついていない生徒に有用。

（学校）今年度、コロナ禍でついた予算が来年もつくか不明だが、何とかしたい。現時点、教員志望の大学生にボランティアで入ってもらえるよう相談中。そのほか、ユースプラザでの自習室を使うよう後押しをし、外部にもつなげていきたい。

（委員）英数での習熟度別とはどのようなものか？

（学校）1年では少人数での展開、2・3年では目的に応じて就職や進学など分けている。

### 【入学者選抜概況について】

（委員）大学進学も一定出しているのだから、そのアピールも必要ではないか？ ドリカムだけじゃない。総合学科だからこその進学を意識した授業に組むこともできるはず。

（学校）大学進学については規模が小さくても面倒見がいい大学などを的に考えている。

### 【ドリカムについて】

（委員）コロナ禍でドリカムフェスタを大ホールではできなかったが、学校でやることで発表者と聞くものの距離が近く、また、たくさんの生徒が発表でき、1・2年生にはいい刺激になったのでは？ このやり方も追及してほしい。

### 【全体を通して】

（委員）教育行政が1ミリ動かしたら、現場は何センチも動く。現場の先生方はそれにとらわれず、目の前の生徒をしっかり見てほしい。先生方が元気を出していただくのが大事。

（委員）私学の無償化で、公立がこうなることは目に見えていたわけだが、子どもが落ち着いているのは先生方の力で満たされているから。地域に小中高大が固まっているのをいかせたらいい。

（委員）彩都方面の倉庫建設が目白押し、流通関係も今後一変していく。地元の雇用につながるよう働きかけていくつもりだが、ここに福井高校ありというのを示していければ。

（委員）頑張っている卒業生の様子を見ることができ、こちらも元気になった。

（学校）本日いただいたご意見を来年度へ向けてすすめていく。